

第7次高松市行財政改革計画

～信頼と活力に満ちた市役所を目指して～

平成28年度実績報告書

平成29年8月

目 次

I 総 論

- 1 第7次高松市行財政改革計画の戦略的取組と推進体制
- 2 目標値と実績値
 - (1) 重点取組
 - (2) 財政指標
 - (3) 目標効果額と実績効果額
- 3 計画に変更のあった実施項目等
 - (1) 計画に追加した実施項目
 - (2) 中止とした実施項目

II 各 論

- 1 局進行管理
 - (1) 取組状況（局別）
 - (2) 目標達成度（局別）
 - (3) 効果額（局別）
- 2 局進行管理体制
- 3 プロジェクト進行管理体制
- 4 【参考】平成28年度外部評価による事業の見直し状況

1 第7次高松市行財政改革計画の戦略的取組と推進体制



2 目標値と実績値

(1) 重点取組

- 信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

指 標	平成28年度	計画策定時点 (平成26年度)	目標値
市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合	91.6%	85.1%	100%
市民サービスアンケート(集中実施)における満足度	96.6%	92.9%	100%

「市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合」は、計画策定時点と比較し、6.5ポイント増加した。

「市民サービスアンケート(集中実施)における満足度」は、計画策定時点と比較し、3.7ポイント増加した。

両指標ともに増加しており、取組実施項目について、継続して積極的に担当所属において取り組むとともに、全庁を挙げて目標達成に向けて取り組みを進める。

(2) 財政指標

ア 経常収支比率（低い方が望ましい指標）

財政指標 (目標値)	計画策定時点（平成26年度）決算値		実績値
	高松市	中核市平均	
90.0%	87.3% (27年度：89.8%)	90.8% (27年度：89.9%)	91.8% (28年度決算見込み)
		<p>経常経費一般財源と経常一般財源ともに減少したものの、経常一般財源の減少率が大きかったため、数値が上昇した。</p> <p>引き続き、経費節減等に努めていく。</p>	

イ 実質公債費比率（低い方が望ましい指標）

財政指標 (目標値)	計画策定時点（平成26年度）決算値		実績値
	高松市	中核市平均	
10.0%	9.2% (27年度：9.2%)	7.3% (27年度：7.1%)	9.0% (28年度決算見込み)
		<p>標準財政規模と基準財政需要額の上昇により、比率としては、昨年より減少した。</p> <p>今後も有利な起債を選択し、財政負担軽減を進めていく。</p>	

(3) 目標効果額と実績効果額

- 計画期間内に実施する取組における期待される効果額

約8億1千万円

(千円)

目標効果額	28年度	29年度	30年度	31年度	累計額
歳入	11,133	34,107	55,654	65,755	166,649
歳出	98,998	128,972	190,809	230,984	649,763
効果額 (単年度)	110,131	163,079	246,463	296,739	816,412
効果額 (累積)	—	273,210	519,673	816,412	

(千円)

実績効果額	28年度	29年度	30年度	31年度	累計額
歳入	59,247	—	—	—	59,247
歳出	115,354	—	—	—	115,354
効果額 (単年度)	174,601	—	—	—	174,601
効果額 (累積)	—	—	—	—	

○ 取組項目ごとの内訳（平成 28 年度効果額）

取組項目	実施 項目数	効果額（千円）		達成度
		目標	実績	
1 信頼される職員の育成と質の高いサービスの提供				
(1) コンプライアンスの徹底	1	—	—	
(全局共通取組項目)「コンプライアンス推進施策」の実施				
(2) 職員の意識改革、能力向上	5	—	—	
(全局共通取組項目) 職位ごとに求められる責任、役割の認識				
(全局共通取組項目) 専門性の維持、向上				
(全局共通取組項目) 技術継承の推進				
(3) 組織の活性化	3	—	—	
(全局共通取組項目) 人事評価制度の適正な運用				
(全局共通取組項目)「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備				
(4) 仕事の進め方の見直し	2	—	—	
(全局共通取組項目) 各課における「業務マニュアル」の見直し				
2 持続可能な財政運営の推進				
(1) 自主財源の確保	15	14,307	72,074	503.8
(2) ファシリティマネジメントの推進	10	110	12,334	11212.7
(3) 定員・給与の適正化	3	45,800	0	0
(4) 社会保障費の抑制	5	34,858	39,004	111.9
3 成果を重視した行政運営の推進				
(1) 事務事業の改革	19	10,968	14,012	127.8
(2) 業務の委託化・民間活力の導入	4	—	—	
(3) 最適な行政サービスの提供	15	4,021	37,077	922.1
(4) 施設の効率的運営・利用率向上	7	67	100	149.3
4 参画と協働によるまちづくりの推進				
(1) 市民の市政参画意識の醸成と協働の取組	9	—	—	
(2) 職員の協働意識の向上	2	—	—	
(3) 市政の見える化	1	—	—	
合計	101	110,131	174,601	158.5

3 計画に変更のあった実施項目等

(1) 計画に追加した実施項目

分類番号	2 - (2) (ファシリティマネジメント の推進)	担当所属	環境局 環境施設対策課	
実施項目	公衆便所管理等事業			
実施内容 (概要)	<p>【平成 28 年度外部評価対象事業】</p> <p>公衆衛生の観点から、市民並びに来訪者の需要に応えるために設置している公衆便所については、適正な管理を行うとともに、周辺状況の変化に則し、市民トイレの廃止を行うなど経費の削減に努めてきたところである。</p> <p>今回「改善」の判定を受けたことから、個々の便所について周辺状況や利用状況を調査し、必要性を取りまとめ、廃止できる便所を抽出し、関係者と協議を進める。</p> <p>また、ネーミングライツ事業の導入の可能性を探るなど、新たな財源確保に努める。</p>			
個別目標	<p>平成 28 年度</p> <p>栗林公園前公衆便所の清掃委託内容の見直しを行う</p> <p>平成 29 年度以降</p> <p>①公衆便所の周辺状況や利用状況の調査</p> <p>②個々の公衆便所の必要性を検討し、廃止できる便所の抽出</p> <p>③関係者と協議</p> <p>④ネーミングライツ事業の導入の可能性の検討</p>			
実施工程	29 年度	30 年度	31 年度	
	①～④の実施	③の実施	③の実施	

分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)	担当所属	創造都市推進局 文化財課	
実施項目	歴史資料館管理運営事業（ほか関連 4 事業）			
実施内容 (概要)	<p>【平成 28 年度外部評価対象事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料館管理運営事業 ・歴史資料館常設展事業 ・讃岐国分寺跡資料館管理運営事業 ・香南歴史民俗郷土館管理運営事業 ・石の民俗資料館管理運営事業 <p>集客力アップに向けた P R 方法等の見直し。</p>			
個別目標	集客方法の調査、研究及び広報アドバイザー制度の活用等 P R 方法を見直す。			
実施工程	29 年度	30 年度	31 年度	
	4 館計 140,000 人	4 館計 140,000 人	4 館計 140,000 人	

分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)	担当所属	教育局 生涯学習課生涯学習センター	
実施項目	コミュニティセンター講座等事業			
実施内容 (概要)	<p>【平成 28 年度外部評価対象事業】</p> <p>現在、市内 5 2 コミュニティセンターにおいて、生涯学習に関する講座の開催を委託している。</p> <p>生涯学習に関する地域のリーダー養成を重視するとともに、コミュニティの再生につながる事業となるよう、講座の開催方法や内容等について見直しを図っていく。</p>			
個別目標	<p>地域の生涯学習をコーディネートするキーパーソンを養成する「生涯学習コーディネーター養成講座」の受講者数を増加させる。</p> <p>27 年度受講者数 464 人</p>			
実施工程	29 年度	30 年度	31 年度	
	480 人	490 人	500 人	

分類番号	3 - (2) (業務の委託化・民間活力の導入)	担当所属	教育局 中央図書館	
実施項目	図書館運営事業（ほか関連 1 事業）			
実施内容 (概要)	<p>【平成 28 年度外部評価対象事業】</p> <p>直営での運営体制を継続し、本市図書館協議会の意見を参考に、より効果的・効率的な事業運営を行う。</p> <p>また、指定管理者制度導入等については、外部評価の結果を踏まえ、中・長期的な視点の中で、他都市の導入事例などを調査・研究し、慎重に、様々な面から導入の可能性を検討する。</p>			
個別目標	より効果的・効率的な事業運営を行う。			
実施工程	29 年度	30 年度	31 年度	
	指定管理者制度等の導入可能性を検討	指定管理者制度等の導入可能性を検討	指定管理者制度等の導入可能性を検討	

分類番号	3 - (1) (事務事業の改革)	担当所属	教育局 学校教育課
実施項目	教育資金支援事業		
実施内容 (概要)	【平成 28 年度外部評価対象事業】 財政負担が増加しないように、経済的要件や給付月額は据え置き、その上で、成績要件については 29 年度奨学生より平均 3.1 以上から 3.5 以上に引き上げを行う。		
個別目標	支給対象者の増加が懸念されるが、財政負担が増加しないように成績要件などについて見直しを行う。		
実施工程	29 年度	30 年度	31 年度
	成績要件の引上げの実施	推進	推進

(2) 中止とした実施項目

平成 28 年度に中止とした実施項目はなし

Ⅱ 各 論

1 局進行管理

(1) 取組状況（局別）

局 名	実 施 項 目	A 実施済	B 着手済	C 未着手	D 中止	E 未到来	H28 取組項目
市民政策局	5	5					5
総務局	14	10	4				14
財政局	12	11	1				12
健康福祉局	11	4	7				11
環境局	10	3	6			1	9
創造都市推進局	14	5	9				14
都市整備局	9	4	5				9
消防局	5	5					5
病院局	6		6				6
上下水道局	9	6	3				9
教育局	6	1	5				6
合 計	101	54	46			1	100

(2) 目標達成度（局別）

局 名	H28 取 組 項 目	5 達 成	4 おおむね 達 成	3 ある程度 達 成	2 やや下回 っている	1 かなり下回 っている	0 全くでき なかつた
市民政策局	5	2	1	1		1	
総務局	14	4	8	1	1		
財政局	12	4	7				1
健康福祉局	11	8	1	1	1		
環境局	9	6	2				1
創造都市推進局	14	10			4		
都市整備局	9	2	3	1	2		1
消防局	5	3	2				
病院局	6	1	3	1	1		
上下水道局	9	6	3				
教育局	6	1	2	1	2		
合 計	100	47	32	6	11	1	3

5達成：100%以上 4おおむね達成：100%未満～85%以上 3ある程度達成：85%未満～70%以上

2やや下回っている：70%未満～60%以上 1かなり下回っている：60%未満

0全くできなかつた：0%

(3) 効果額 (局別)

(千円)

局 名	平成 28 年度目標効果額			平成 28 年度実績効果額			進捗率 (%)
	計	歳入	歳出	計	歳入	歳出	
市民政策局	—	—	—	—	—	—	—
総務局	45,800	0	45,800	0	0	0	0
財政局	7,000	7,000	0	54,630	54,630	0	780.4
健康福祉局	44,876	0	44,876	51,926	0	51,926	115.7
環境局	67	67	0	10,212	100	10,112	15241.8
創造都市推進局	4,301	0	4,301	16,239	0	16,239	377.6
都市整備局	250	250	0	0	0	0	0
消防局	36	36	0	634	634	0	1761.1
病院局	—	—	—	—	—	—	—
上下水道局	7,801	3,780	4,021	40,960	3,883	37,077	525.1
教育局	—	—	—	—	—	—	—
合 計	110,131	11,133	98,998	174,601	59,247	115,354	158.5

2 局進行管理制

市民政策局

平成28年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践し、朝礼時に地方公務員法の唱和を行うなど、コンプライアンスを徹底しました。政策課においては、書類の保管方法に重点を置き、課内の決裁書類及び個人情報を含む書類の管理場所を指定し、管理を徹底するよう、職員へ意識付けを行いました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課ともに事務分担表と年間スケジュールを作成した上で、担当の役割を明確にするための打ち合わせを行いました。また、毎月月間スケジュールを作成した上で、業務打合せを実施し、担当ごとの業務の進捗状況の確認や情報共有を図りました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	市町村・国際文化アカデミーの長期研修に職員を派遣するなど、専門的知識の維持・向上に努めました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	一業務を複数人が関わる体制を整備し、経験豊富なベテラン職員が助言・指導しながら業務に従事する中で、専門的知識や技術の継承に取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課とも人事評価の能力評価及び業績評価について、所属職員との面談を通して、情報・目標の共有、適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課ともあいさつや声かけを積極的に行い、風通しの良い職場の実現に努めました。また、リスクマネジメント会議等を活用し、各係や課員が抱える課題、懸案事項を確認するとともに、改善策を話し合うなど、各自に求められる役割の確認、個々の能力の向上に努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	総合センター化に伴い、マニュアルの見直しを実施しました。また、市民やすらぎ課及び市民課が改正するマニュアルについては、随時総合センターにも提供し、周知しています。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

市民政策局

▶ 平成28年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	5 件	効果額		取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	千円	※達成	2 件
実施済	5 件	実績効果額		※おおむね達成	1 件
着手済		歳入	千円	ある程度達成	1 件
未着手		歳出	千円	やや下回っている	
中止		計	千円	かなり下回っている	1 件
未到来				全くできなかった	
【実施・着手率】	100%	【達成率】	%	【達成率】※の割合	60.0%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
4 - (2) 協働推進員制度の在り方検討	平成28年度に、協働推進員制度における課題を整理するとともに、地域コミュニティ協議会を対象としたアンケート結果を踏まえ、地域の重要性を理解しサポートできる人材として、協働推進員の実効性を高めるため、選任方法等協働推進員制度の見直しを行いました。	
4 - (2) 協働企画提案事業の見直し	平成28年度には、27年度に実施した協働企画提案事業のうち、4事業を行政や地域との協働により継続実施しました。また、28年度に採択した2事業については、アドバイザーを交えたきめ細かな協議を重ね、協働事業に対する理解を深めながら事業に取り組みました。	

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由
4 - (1) 自治会活動の活性化	自治会加入への啓発活動のほか、地域と行政が参画したプロジェクトチームや庁内関係課会議における実効性のある加入促進対策の検討や、既存の補助制度の見直しに取り組むなど、一定の進捗は図れましたが、今日における自治会の役割や目的など十分に検証すべき課題があり、具体的な対策方針の取りまとめには至りませんでした。

実績概要	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ●協働推進員制度において、より実効性を高めるため、選任方法等の見直しを行いました。 ●地域コミュニティ協議会への支援策であるゆめづくり推進事業において、コミュニティプランの意識づけや事業の継続化・自立化をねらいとして、「課題解決応援加算」として地域まちづくり交付金に発展的に継承する見直しを行いました。 ●効果が不明瞭であった「自治会集会所管理運営補助」及び「自治会加入・結成奨励補助」を平成30年度から廃止し、効果的な自治会加入促進策を検討することとしました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●地域コミュニティ協議会の中核組織である自治会の加入率低下に歯止めをかける方策が必要です。 ●地域コミュニティ組織の構築からおおむね10年以上が経過し、各地域の活動への理解や取組状況に温度差がみられ、民主的な組織運営や適正な会計処理など、自主・自立度の成熟が必要です。 ●地域の公共交通に対する意識と、高松市の考える公共交通との間にかい離があるため、考え方の共有を図る必要があります。 ●地域で公共交通を支えようとする意識の醸成を図る必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●見直しを行った協働推進員制度の効果を見極めながら、制度の更なる充実を検討していきます。 ●自治会加入促進策について、今日の自治会の役割や目的を検証した上で、地域とともに実効性のある具体的な方策を検討していきます。 ●これまでのコミュニティ施策の検証に基づく対応策を着実に実行していくとともに、今後の目指すべき「地域コミュニティ協議会」の在り方を取りまとめ地域と共有します。 ●地域で導入した公共交通について、成功事例を取り上げたPRを行います。 ●コミュニティバス導入を検討する地域へ出向き、説明を行います。

総務局

平成28年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践し、コンプライアンスを徹底しました。特に、リスクマネジメント会議の活性化に重点を置き、ヒヤリ・ハット事例について情報共有を図るとともに、職員への意識付けを図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	朝礼や終礼を通じて、課内各係における業務の進捗状況を把握し、適切な進行管理を行いました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	総務課、コンプライアンス推進課など関係課と共同で、文書取扱主任等を対象にした各取扱主任等事務説明会を開催し、文書事務や情報公開制度等について職員の専門性の維持、向上を図りました。また、情報政策課において、情報セキュリティ研修を実施し、セキュリティ意識の向上を図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	実施していません。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価面談を通じて、職場内の課題認識及び情報共有を行うとともに、コミュニケーションの活性化を図り、風通しの良い職場環境づくりに努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	総務局の目標「予防」及び局内各課の目標を設定し、目標達成に向けて課題認識及び情報共有を図りました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	人事課行政改革推進室において、事務処理改善マニュアルを策定し、事務の簡素化・効率化及び職員の負担軽減を図りました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

総務局

▶ 平成28年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	14 件	効果額		取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	45,800 千円	※達成	4 件
実施済	10 件	実績効果額	0	※おおむね達成	8 件
着手済	4 件	歳入		ある程度達成	1 件
未着手		歳出		やや下回っている	1 件
中止		計	0 千円	かなり下回っている	
未到来				全くできなかった	
【実施・着手率】	100%	【達成率】	0%	【達成率】※の割合	85.7%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
1-（3） 庁内検討委員会等の制度見直し	見直し基準（見直しの視点）を策定し、全庁的な見直しを実施しました。78委員会を検討対象とし、廃止・整理統合により60委員会に削減しました。	—
1-（4） 事務処理改善マニュアルの作成	内線電話機固有番号の使用による取次時間の削減、文書取扱副主任を置くことによる文書取扱主任の負担軽減及び決裁の迅速化、全庁照会フォルダの利用による庁内照会の簡素化及び幹事課の負担軽減を図るため、マニュアルを策定しました。	—

実績概要

成果	コンプライアンスの徹底について、「新コンプライアンス推進施策」に基づき、職員の意識改革に主眼を置いた各種取組を進めた結果、「市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合」については、前年度に比べ、4.3ポイント上昇しました。
課題	「受益者負担見直し基準」の見直しについて、中核市の状況調査を実施したものの、課題整理及び現状把握に時間を要したため、当該基準の見直しには至りませんでした。
今後の取組	「受益者負担見直し基準」の見直しについて、策定から10年以上経過していることから、現状に応じた見直しを行い、コスト面、負担の公平性の面から各施設における受益者負担の適正化を図ります。

財政局

平成28年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	定期的にリスクマネジメント会議を開催し、職場におけるヒヤリ・ハット事例等について協議するとともに、朝礼において、定期的に不祥事撲滅推進プログラムや地方公務員法第30条等を課内全員で唱和し、コンプライアンス意識の向上に努めています。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	朝礼や係長会などにおいて定期的に業務内容を課内で共有するとともに、年度における課の目標を面談等により各職員につたえ、各職位の責任や役割について認識を深めています。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	課内での勉強会や職場内研修を実施することで、課員の知識や技能の維持・向上に努めています。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	在課年数の長い職員と短い職員がバランスよく配置されるよう、課内体制を工夫するとともに、定期的に担当業務を入れ替えることで、前任者が在課している間に知識を継承するよう努めています。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価制度に基づき、公平で客観的な評価を行うとともに、面談を行うことで係長や管理職による目標の適正な管理と部下との意思疎通を図っています。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	上司・部下への報告、連絡、相談を適宜行い、情報の共有化を積極的に行うとともに、あいさつや声かけなどのコミュニケーションの強化に努めたことにより、風通しの良い職場環境の醸成に努めました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	係や課単位での「業務マニュアル」を作成しており、最新の内容になるよう、適宜見直しを行っています。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

財政局

▶ 平成28年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	12	件	効果額		取組項目数
【取組状況】			目標効果額	7,000	千円 ※達成
実施済	11	件	実績効果額	54,630	千円 ※おおむね達成
着手済	1	件	歳入	54,630	千円 ある程度達成
未着手		件	歳出		千円 やや下回っている
中止		件			千円 かなり下回っている
未到来		件	計	54,630	千円 全くできなかった
【実施・着手率】	100%		【達成率】	780.4%	【達成率】 ※の割合
					91.7%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2-（1） ネーミングライツの導入	平成28年度は、屋島競技場のリニューアルオープンに合わせて、(株)レグザムと命名権契約を締結したこと（命名権収入は平成29年度から）に加え、本庁舎広告付案内表示板の広告収入を確保しました。	1,458千円

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2-（1） 未利用地等の売却	用途廃止地や旧保留地、元法定外公共物（元農道・水路跡地）などの未利用地の一般競争入札等による適切な売却を推進するとともに、平成26年6月に不動産業者（宅建協会等）と締結した売却あっせんに関する協定を有効に活用した結果、効果額目標を大幅に上回る成果が得られました。	53,172千円

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由
2-（1） 職員の自家用車駐車場の有料化	平成27年度までに、職員団体と自家用車駐車場の有料化及び減免案について、合意を得ることができませんでした。平成28年度は、これまでの経緯を踏まえ、駐車場料金の更なる減額案の検討を行ったものの、この案では財源確保及びマイカー通勤の自粛等という本来の導入目的にはなじまないことや、職員団体との再交渉を行う新たな事情変更にも当たらないこと等から、再交渉を進めることができませんでした。今後は、出先施設（市長部局）における自家用車駐車場の公有財産の管理面や福利厚生面からの検証を加える中で、職員団体への働きかけを行う予定です。

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ●ネーミングライツ事業については、導入可能性の検討を行うとともに、引き続き、庁舎案内版のモニターに広告を掲載することにより、広告収入を確保しました。 ●用途廃止地や旧保留地、元法定外公共物（元農道・水路跡地）などの未利用地の一般競争入札等による売却を推進し、効果額目標を大幅に上回る成果を得ました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●出先施設における職員の自家用車駐車場の有料化については、職員組合から受け入れられない旨の回答があり、協議が中断していますが、再度有料化の合意に向け、粘り強く交渉を継続する必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●出先施設における職員の自家用車駐車場の有料化については、関係課とも連携し、引き続き、協議を行い職員組合に強く理解を求めるとともに、適切な対応策を模索しながら、早期合意を目指すよう努めます。

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	<p>CSクレドなどの唱和に加え、リスクマネジメント会議での議論など、新コンプライアンス施策に記載の各施策を実践し、コンプライアンス意識の醸成に努めました。特に、各所属で実施しているリスクマネジメント会議において、ヒヤリ・ハット事例を洗い出し、その分析や防止策の検討を行うなど、会議の更なる充実を図り、リスクマネジメントの強化に努めることとしており、所属長を中心に、職員一人一人が考え、組織一丸となって、不祥事の根絶に取り組んでいます。</p>
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	<p>毎月末に局内課長会を、課においては毎月初めに係長会を実施し、各課（係）の行事予定や懸案事項の進捗について報告を行うことで、情報共有を行うとともに、それぞれの役職に応じた説明責任を負うこととなり、課せられた役割について再認識できています。</p>
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	<p>長寿福祉部において、介護制度の改正に関する研修を部全体で実施し、専門性の維持・向上に努めました。</p> <p>保健対策課において、医療法や医療相談の研修に担当職員を参加させたほか、感染症発生時対応のため、関係職員に対し、防護服着用等の研修や、鳥インフルエンザ発生時における活動説明会を行いました。</p> <p>保健センターにおいて、毎月1回、定例の職員研修会を開催し、多様な内容の研修を実施するなど、保健師等の専門職の職務遂行能力の維持、向上を図りました。</p>
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	<p>こども未来部において、新しく配置された職員を対象に、「こども未来部3課新規転入職員合同研修」を実施し、関係課の業務に関する説明を行い、福祉に関する基礎的な知識の習得と技術の継承を推進しました。</p> <p>地域包括支援センターにおいて、介護予防ケアマネジメントの手法等について詳細なマニュアルを作成の上、それをを用いた研修・勉強会を実施し、担当職員間で情報共有・共通認識を図っています。また、新任職員には、着任当初その都度研修を行っているほか、必ず指導員（プリセプター）を付け、専門的知識・技術の継承を行っています。</p>
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	<p>面談を通じて、職員間のコミュニケーションの活性化を図るとともに、適正な業績目標を立てることで、効率的な業務の遂行を図りました。また、評価に当たっては、客観的な視点で行うよう努めました。</p>
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	<p>局内各所属において、係長会や朝礼等の機会を活用し、職員間の情報共有、コミュニケーションの活性化を図るとともに、職務を通じて適切な指示や指導を行い、職員のスキルアップや意識向上を図ることで、職場環境の整備・充実に努めています。</p> <p>また、局長と所属長の面談や、局長が講師となり局内の課長補佐や係長等を対象として研修を実施し、健康福祉局を取り巻く課題や対応方針などの共有に努めました。</p>
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	<p>局内全所属において、「業務マニュアル」や「不祥事撲滅推進プログラム」について、今一度、内容を確認するとともに、これまで発生した情報管理上や職務遂行時の事故・トラブル等についての見直しを実施し、業務内容の理解と適切な執行体制の構築を図りました。</p>
各課における「業務マニュアル」の見直し		

健康福祉局

▶ 平成28年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	11 件	効果額		取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	44,876 千円	※達成	8 件
実施済	4 件	実績効果額	51,926 千円	※おおむね達成	1 件
着手済	7 件	歳入		ある程度達成	1 件
未着手		歳出	51,926 千円	やや下回っている	1 件
中止		計	51,926 千円	かなり下回っている	
未到来				全くできなかった	
【実施・着手率】	100%	【達成率】	115.7%	【達成率】※の割合	81.8%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2 - (2) 幼稚園、保育所の在り方	「高松市幼保連携型認定こども園整備基本計画」に基づき、市立の幼稚園・保育所を統合することで、就学前の子どもに対し、等しく質の高い教育・保育環境を提供するとともに、施設の維持管理経費等の縮減を図りました。	認定こども園への移行 1 件 (川東こども園)

実績概要	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ●レセプト点検を充実・強化するとともに、ジェネリック医薬品の使用推進や生活習慣病の重症化予防等について周知啓発等に努め、国民健康保険の医療費の適正化を推進しました。 ●「生活保護受給者等就労自立促進事業」実施計画における就労者数の目標を達成し、就労を開始した被保護者の就労収入額を増加させることにより、生活保護費を削減しました。 ●「高松市地域包括支援センター・保健センター出先機関の統合整備方針」に基づき、平成29年1月に、牟礼、香川、勝賀、国分寺の4地区において、合併地区地域包括支援センター・サブセンター・サテライト、保健センターを、各地区総合センター内へ統合整備しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●国民健康保険、介護保険給付費の適正化 ●介護予防事業の積極的な実施による要介護状態の人の抑制 ●市立幼稚園・保育所の幼保連携型認定こども園への移行推進 ●地域包括支援センターと保健センターの出先機関の跡施設の有効活用等
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●国民健康保険・介護保険給付費の適正化に向け、引き続き、市民への周知・啓発活動やレセプト点検の充実・強化等を行うとともに、重複服薬対策や糖尿病性腎症重症化予防プログラム支援を行うなど、更に取組を進めていきます。 ●介護予防の場や教室を増やすとともに、住民のボランティア活動の支援に取り組むほか、通所型サービス等のマネジメントなどを適切に実施し、要介護状態の人の抑制を図ります。 ●「高松市幼保連携型認定こども園整備基本計画」に基づき、市立の幼稚園・保育所について、順次、幼保連携型認定こども園への移行を行っていきます。 ●地域包括支援センターと保健センターの出先機関を統廃合した、跡施設の有効活用や管理運営方法の在り方を検討していきます。

環境局

平成28年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課において、リスクマネジメント会議を毎月2回実施し、ヒヤリ・ハット事例などの情報共有やコンプライアンスに関する周知・意見交換を行うとともに、コンプライアンス推進日におけるCSクレド等の唱和や資料の回覧等を通して、法令遵守の意識づけを行いました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課ともに、業績目標の設定及び面談、年間スケジュールの作成、業務マニュアルの活用、進捗状況の打合せ等を通じて、各職員が責任と役割を認識するよう取り組みました。また、衛生処理センターでは、担当の役割を明確化するため、係ごとの重点目標シートを作成し打合せを行いました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	環境総務課において市町村アカデミー等に職員2名を派遣し、政策形成能力の向上を図ったほか、各課において適宜、職場外研修や資格取得講習の受講機会を確保しました。また、環境業務課において、職員の担当地区の配置換えにより、収集に必要な地域情報と経験を蓄積できるよう努めました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課ともに、業務マニュアルを活用し、業務に必要な知識・技術の継承を図りました。また、環境業務課において、ベテラン職員や管理職が講師となって新任職員に対し実務研修を実施したほか、各課におけるOJTの実施により、技術継承に取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課ともに、面談を適切に実施し、各職員が職務の遂行において発揮した能力及び達成した実績を公平かつ公正に評価しました。また、環境施設対策課では、面談時に評価の基準について説明し、評価者と被評価者の基準が同じとなるよう取り組みました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	局内のオフサイトミーティングを年2回実施し、風通しのよい職場づくりを図りました。また、各課において、朝礼時のスピーチ、管理職の声掛け、挨拶の励行、懇親会の開催などを通して、職員間のコミュニケーションを積極的に行いました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各課において、定期監査における指摘事項や日常業務におけるヒヤリ・ハット事例などを適宜、業務マニュアルに反映するとともに、年度末の人事異動に併せ、マニュアルの確認・見直しを行いました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

環境局

▶ 平成28年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	10 件	効果額		取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	67 千円	※達成	6 件
実施済	3 件	実績効果額	10212	※おおむね達成	2 件
着手済	6 件	歳入	100 千円	ある程度達成	件
未着手	件	歳出	10112 千円	やや下回っている	件
中止	件			かなり下回っている	件
未到来	1 件	計	10212 千円	全くできなかった	1 件
【実施・着手率】	90%	【達成率】	15241.8%	【達成率】※の割合	80.0%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2 - (2) し尿と下水の共同処理事業	平成28年10月から、し尿と下水の共同処理事業の試験運転を開始しました。試験が順調に推移し、当初の予定よりも東部下水処理場への送水量を増やせたことにより、処理経費が縮減できました。	9,872千円

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由
3 - (1) 家庭系ごみ収集運搬に係る既委託業務の契約方法等の見直し検討	家庭系ごみ収集運搬に係る既委託業務の契約方法について、競争が働く契約方法の導入に向けて検討を行いました。計画で設定した平成30年度の導入は困難となりました。今後も引き続き、関係団体等との調整を継続し、契約方法の見直しを検討します。

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅用太陽光発電システム設置補助制度について、国・県の実施状況や固定価格買取制度の状況などを踏まえ、平成29年度の予算額の見直しを行いました（▲12,000千円）。 ●ボランティア清掃において、清掃活動実施計画書の受理時にごみの分別回収の協力と周知徹底を図ったことにより、分別回収率100%を維持することができました。 ●栗林公園前公衆便所内部を区画し、清掃面積を減らすことで、清掃委託料を削減しました（▲240千円）。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭系ごみ収集運搬に係る既委託業務の契約方法等の見直しについては、関係団体等との調整を継続し、検討を進めていく必要があります。 ●1人1日当たりのごみの再資源化量は、近年伸び悩みの傾向があります。 ●太陽光発電事業者への市有地の有償貸出しについては、新規の対象案件がありませんでした。なお、市内における太陽光発電は、着実に導入が進んでいます。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●西部クリーンセンターの基幹的設備改良工事を実施する中で、蒸気タービンの更新を行い、発電能力を高め、売電量を増加します。 ●し尿と下水の共同処理事業を、平成29年度から本格稼働します。 ●ごみの再資源化について、昨年度導入した「高松市ごみ分別アプリ」の周知啓発を図るとともに、「使用済小型家電リサイクル事業」や「紙資源リサイクルの推進」を継続実施することにより、1人1日当たりの資源化量207グラムの達成を目指します。 ●直営の家庭系ごみ定期収集部門を平成30年度から段階的に委託し、収集車の減車を図ります。

創造都市推進局

平成28年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに「新コンプライアンス推進施策」に記載している施策を実践し、コンプライアンス意識の徹底を図りました。月2回開催しているリスクマネジメント会議では、事故や不祥事の発生を未然に防ぐことについて話し合いを行い、リスク管理に係る職員への意識づけを徹底して行いました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	複数の課において、定期的に係長会を開催し、各係が抱えている課題等を共通認識するとともに、適切な指示を行うことで、業務を円滑に遂行できるよう努めました。また、年間スケジュールを作成し、各業務における担当者の役割を明確化し、定期的に業務の進捗状況の確認を行いました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	市場業務課においては、卸売物品の検査や施設の修繕等に係る実務能力を身に付けた職員が周囲の職員に知識を伝え、職場全体の専門性の維持・向上に努めました。 美術館美術課においては、美術品の展示や保管等に係る専門能力等を身に付けた専門職員が、積極的に自らの経験や知識を周囲の職員に伝え、職場全体の専門性の維持・向上に努めました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	農林水産課においては、有害鳥獣の捕獲方法や林道管理に必要な除草用務等について、経験豊富な職員からの指導を積極的に行うなど、業務の効率化と安全性の確保を図りました。 文化財課においては、調査及び展示等について、経験豊かな職員による指導を積極的に行い、文化財専門員及び学芸員が日常業務の中で技術継承ができるよう取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課ともに人事評価制度における評価者と被評価者での面談を通して、年間業務の効果的な目標設定を行うとともに、適正な評価の実施に努めました。また、業績評価において、各職員が掲げた目標達成に向け、効果的なOJTを実施するなどサポートに努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	「高松市職員人財育成ビジョン」に基づき、複数の課において、各職員の自己研鑽や各研修への参加には業務上のサポートを行うなど、職員が主体的に学べる職場環境の整備に努めました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	複数の課において、人事異動時期に限らず、随時各担当の業務マニュアル等の見直しを行い完成度を高めることで、多様化する業務に正確かつ迅速に対応できるよう取り組みました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

▶ 平成28年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	14 件	効果額		取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	4,301 千円	※達成	10 件
実施済	5 件	実績効果額	16,239 千円	※おおむね達成	
着手済	9 件	歳入		ある程度達成	
未着手		歳出	16,239 千円	やや下回っている	4 件
中止		計	16,239 千円	かなり下回っている	
未到来				全くできなかった	
【実施・着手率】	100%	【達成率】	377.6%	【達成率】※の割合	71.4%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2-（1） 競輪事業の効率的運営	定年・中途退職者の補充を行わないとともに、全従業員を対象とした雇用調整を行い、経費の削減に努めました。	12,927千円

実績概要	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ●農村環境改善センター等の維持管理について、委託事業の内容等について見直しを行うことなどにより、経費を削減しました。 ●農業団体育成事業の見直しについて、事業成果及び農業振興の低下につながらないよう関係団体との協議を行い、補助金を削減しました。 ●歴史資料館管理運営事業について、広報アドバイザーによる収蔵資料の活用やPR方法等についてのアドバイスを受け、各施設の集客力向上に向けた取組を行いました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校体育施設の開放事業について、平成28年度中に実施した受益者負担に関する調査等を分析し、受益者負担制度の導入について検討する必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●本市文化施設の収蔵品情報管理システムについては、引き続き、収蔵資料の登録を進めるとともに、各館の収蔵品登録情報の内容を充実させ、より多くの利用が見込めるよう、情報発信等に取り組みます。 ●昨年リニューアルオープンした高松市美術館については、引き続き、多岐にわたる内容の展覧会開催や、こどもアートスペース「こども+（プラス）」を活用した多彩なアートプログラムの提供などに努め、美術館利用者数の増加を図ります。

都市整備局

平成28年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践し、コンプライアンスを徹底しました。特に、リスク事案のリスクマネジメント会議での共有化や、朝礼におけるコンプライアンスに係る講話などにより、日常から職員への意識付けを図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課において、所属長を中心として、年間（又は月間）スケジュールを作成するとともに、終礼・係長会等を通じて、時間外勤務の必要性を含め、適切な指示を行っています。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	長期研修への派遣や、資格取得の奨励、業務に必要な専門図書の購入などのほか、日常から業務に係る議論を実施することで、職員間で知識を共有し、専門性を高めることに繋がっています。特に建築職員を対象に、CADの操作や塗装に関する講習会をメーカーの講師を招き実施しました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	日常からOJTによる技術継承等に取り組んでいます。また、個別案件への対応で得た知見等をマニュアル化等を図り、職員で共有化を図っています。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価面談を通じて、課員の業務進捗状況・業務に対する姿勢・能力等を把握し、適正な業務分担、人員配置の検討材料としています。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課において、課題を踏まえた目標設定を行い、課員自らがその役割を認識するとともに、局長オフィスミーティングを始めとしたコミュニケーションを通じて、風通しの良い職場環境の構築を図っています。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	年度の終期・始期に担当者が業務マニュアルに手を加えており、人事異動等に伴う引継ぎなどに活用しています。また、担当者が事務の改善、効率化を図った際に業務マニュアルに反映しています。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

都市整備局

▶ 平成28年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	9 件	効果額		取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	250 千円	※達成	2 件
実施済	4 件	実績効果額	0	※おおむね達成	3 件
着手済	5 件	歳入	0 千円	ある程度達成	1 件
未着手		歳出		やや下回っている	2 件
中止				かなり下回っている	
未到来		計	0 千円	全くできなかった	1 件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	0%	【達成率】 ※の割合	55.6%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2 - (1) 老朽市営住宅の入居者の住替えと住宅の除却	市営住宅全体の適正管理を図るため、老朽化した市営住宅の除却に向け、対象住宅入居者（残数23戸）に対し住替えを推進し、平成28年度の目標戸数11戸に対し、予定を上回る20戸の住替えを実施しました。	平成29年度末に向けては残る3戸の住替えを実施予定です。

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由
3 - (1) レンタサイクル事業の見直し	収入増を目指した利用料の改定（値上げ）については、一時利用の相当数が定期利用へ移行したため、当初見込んでいた一時利用収入が確保できておりません。また、主要ポート直近の瓦町駅ビルから平成26年度に百貨店が撤退した影響を現在も受けております。

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 「丸亀町再開発事業の推進」については、指導・助言を行う中、平成26年度に再開発事業準備組合が設立され、27年度には事業の推進計画が策定され、28年度には建物等評価調査業務及び現況測量業務が実施されました。 ● 「老朽市営住宅の入居者の住替えと住宅の除却」については、対象住宅入居者（残数23戸）に対し住替えを推進し、平成28年度の目標戸数11戸に対し、予定を上回る20戸の住替えを実施しました。 ● 「放置自転車等対策事業」については、放置自転車の削減に向け、学校等への周知文書を配布するなど、周知・啓発の強化を行うとともに、放置自転車禁止区域における移送・撤去を継続して実施しました。また、市民からの要望に応え、平成28年4月から放置自転車の保管所における返還日時を月～金曜日（9時～17時30分）から火～土曜日（10時30分～19時）に見直しました。 ● 「景観の保全、形成、創出」については、屋外広告物改修等事業の補助対象となる既存不適格広告物の広告主に対し、ホームページや新聞広告への掲載により、条例・基準の内容や補助制度の活用について周知・啓発を行いました。 ● 「市営駐車場の効率的運用及び利用促進」については、平成26年度に策定した「高松市立駐車場中期経営計画」に基づき、利用促進に努めるとともに、修繕を実施しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 「レンタサイクル事業の見直し」については、主要ポート直近の瓦町駅ビルからの百貨店撤退の影響等により、利用料収入が減少し、収支バランスの更なる健全化が必要となっています。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 「レンタサイクル事業の見直し」については、利用促進とイメージアップのため、公募により決定した新デザインを新規整備するレンタサイクルに順次塗装を行うとともに、増加する外国人観光客向けの利用促進策を講じるなど、利用促進を図ります。合わせて、中心市街地の活性化や観光の振興に取り組む必要があります。

消防局

平成28年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1) 「コンプライアンス推進施策」の実施	各所属ともに「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践し、コンプライアンス遵守を徹底しました。
1	(2) 職位ごとに求められる責任、役割の認識	各所属において、補佐会や係長会を行い各種業務の役割を明確化するとともに、担当ごとの進捗状況を把握できるように努めました。
1	(2) 専門性の維持、向上	各署において、定期的に各種想定訓練等を行い、専門性の維持向上に努めました。
1	(2) 技術継承の推進	局全体として、消防基礎訓練、機関員講習等を行い、若手職員に対する技能伝承を推進しました。
1	(3) 人事評価制度の適正な運用	人事評価の能力評価及び業績評価において、各所属ともに十分な面談を通して適正な評価の実現に努めました。
1	(3) 「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備	平成29年度高松市消防局重点取組項目を定め職場目標を明確化し、職員の能力を最大限発揮できる職場環境を構築しました。
1	(4) 各課における「業務マニュアル」の見直し	各所属において、各種業務の運用を見直し効率化を図りました。

消防局

▶ 平成28年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	5 件	効果額		取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	36 千円	※達成	3 件
実施済	5 件	実績効果額	634 千円	※おおむね達成	2 件
着手済		歳入	634 千円	ある程度達成	
未着手		歳出		やや下回っている	
中止		計	634 千円	かなり下回っている	
未到来				全くできなかった	
【実施・着手率】	100%	【達成率】	1761.1%	【達成率】※の割合	100%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2 - (1)		
廃棄消防車両の売却	消防車両の更新に伴い、廃棄予定の消防車両7台を売却しました。	634千円

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄予定の消防車両を有効活用するため、消防車両7台を売却し増収を図りました。 ● まちかど救急ステーションを22か所新規認定し、普通救命講習などの資格講習を150回実施しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 自主防災組織の育成強化について、大規模災害においてより有効な活動が行えるよう、実践的な訓練を実施します。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 消防屯所整備事業に基づき計画的に消防屯所の整備を行います。 ● 自主防災組織の育成強化のため、地域コミュニティ協議会等が実施する訓練の支援を行います。

病院局

平成28年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践し、朝礼時に地方公務員法第30条の唱和を行うほか、毎月25日をコンプライアンスの日とし、職員への意識付けと醸成に努めています。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	年間スケジュールを作成し、担当の役割を明確にするため、課長会・係長会など職位ごとの打ち合わせを行っています。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	職務を遂行していく上で専門的な知識が必要な場合には、専門研修等を受講し、知識の習得を行っているほか、必要な認定資格等の取得を促し、スペシャリストの育成にも努めています。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	医療現場での若手職員の技能向上を図るため、日常業務の中で上司や先輩が率先し、技術継承に取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価制度の趣旨に則り、組織として、職員の職務遂行の管理やその能力評価を行っています。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	毎年、職場目標のスローガンを定め、職務に対する一体感を呼び起こすほか、各課で毎日の朝礼などを通じて、積極的にコミュニケーションをとるとともに、各職種、各業務毎に開催する会議を定期的に行うなど、風通しのよい職場環境の整備に努めました。また、業務改善の取組の一環として、職員提案用『院長への提言』を設置し、現場からの声が生かせるような組織風土の醸成にも努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	看護手順などの各業務ごとにマニュアルを作成しており、業務の改善と効率化を図るため、適宜見直しを行っています。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

病院局

▶ 平成28年度の取組実績評価（局評価）

達成度		
取組項目数	6 件	効果額
【取組状況】		目標効果額
実施済		実績効果額
着手済	6 件	歳入
未着手		歳出
中止		計
未到来		
【実施・着手率】	100% %	【達成率】
		※達成
		※おおむね達成
		ある程度達成
		やや下回っている
		かなり下回っている
		全くできなかった
		【達成率】※の割合
		66.7% %

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
3 - (3) 高松市病院事業経営健全化計画への取組	医療の「質・透明性・効率性」の確保を図るため、「高松市病院事業経営健全化計画」に掲げた具体的な施策及び数値目標の達成に向け、取り組み、自己評価として、「計画どおり順調」又は「概ね順調」の割合が83%となりました。	—

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ●メディカルスタッフのスペシャリストの育成については、医療の質の向上を図るとともに、病院機能を強化するために、個々の職員のスキルアップの視点も踏まえ、各職種において特定の専門性を必要とする業務に、必要な認定資格等の取得を促し、それらに従事する職員の育成に努めました。 ●効率的な物品管理体制の構築については、院内で取り扱っている定数外品目の物品システムに登録（基本データ化）し、新病院でのSPDシステム導入に向けて準備を行いました。 ●現年分収納率の向上については、クレジットカード、Iruca決済等、多様な納付方法が選択できることを継続するとともに、収納対策マニュアルを再整備し、未納者への督促や催告等の事務を体系化することで、未収金の発生防止や回収促進に努めました。 ●市立病院の統合・再編については、平成27年度において、新病院の建設工事に着手し、30年度前半の開院に向け、整備を進めております。また、附属医療施設については、建設候補地の土地所有者との用地交渉を断念したことから、新たな建設地を29年度のできる限り早い時期に決定することとします。 ●経営の健全化については、医療の「質・透明性・効率性」の確保を図るため、「高松市病院事業経営健全化計画」について「香川県地域医療構想」との整合を図るとともに、「新公立病院改革ガイドライン」の趣旨に沿い、数値目標を見直し、目標の達成に向けて取り組みました。市民病院では、急性期病院としての医療機能を充実するため、整形外科に「脊椎外来」を開設する一方、診療手当の見直しなど、医師の勤務環境を改善したほか、塩江分院では、地域包括ケアシステムの構築を見据え、地区社会福祉協議会との「地域介護医療情報交流会」を新たに設置しました。また、香川診療所では、健康教室や出張講座を積極的に取り組みました。 ●地域住民との相互理解の醸成については、塩江分院では「地域まるごと医療」を基本方針とし、多職種のメディカルスタッフによる訪問指導や健康相談に取り組みました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●新病院の整備については、平成30年度前半の開院に向け、建設工事の進捗管理や、移転計画の策定など、計画的な整備に取り組む必要があります。また、附属医療施設の整備については、早期に整備用地を取得する必要があります。また、両施設の医療機能については、引き続き国の医療施策の方向性等に対応する必要があります。 ●良質な医療の提供と経営の健全化については、職員全員が、市立病院の基本理念「生きる力を応援します」の実現に向け、「市民から選ばれる病院」となるよう、全力で取り組んでいく必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●市立病院の経営は非常に厳しい状況にありますが、病院運営の指針となる経営健全化計画に基づき、救急医療、地域医療連携機能の強化を図るとともに、更なる医師確保に向けた関連大学への積極的な働き掛けや地域包括ケアシステムの一翼を担う地域包括ケア病棟の開設を行うなど、良質な医療の提供と経営健全化に努めます。

上下水道局

平成28年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践し、コンプライアンスを徹底しました。特に、「職場内研修の充実とオープン化」については、各課とも、職場内での課題となるテーマを、課内講師により研修し、職場内の意識統一や現場での事例を共有するなど、リスクの軽減に努めました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	「上下水道局職員人材育成計画」では、組織において、職位ごとに求められる役割・能力を示した上で、それぞれの職位ごとに応じた研修メニューを実施しました。独自の職位別研修として、管理職員を対象とした、「管理職マネジメント実践研修」を、外部講師を招いて実施しました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	上下水道事業運営に必要な専門的知識・技能の習得を図るため、専門実務研修として、特定のテーマ（「水道管路設計施工」や「下水道事業計画」など）を取り上げて、計4回の研修を実施しました。また、技術系の所属では、課内業務について、独自に、課内研修を実施したり、民間の講習会に参加しました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	川添浄水場内に研修センターを設け、豊富な知識と経験を有する退職者を配置しています。研修センターでは、退職者（再雇用職員）が、研修を企画し、講師を務めるなど、現職の職員への技術継承を主眼とした研修を行い、技術や技能の向上を図りました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	管理職においては、公平かつ公正な評価のみならず、人事評価制度を活用し、人材の育成に活用することで、職員の意識改革と能力開発を効果的に推進し、多様なお客さまニーズに対応できる職員の育成を図りました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	職員が主体的に学ぶことができる研修体系の整備として、「上下水道局職員人材育成計画」を毎年策定し、年間を通じた研修計画や自主研修のメニューを提示することにより、職員各人が計画的に研修に参加することができるようにしています。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	職員の業務に対する理解の推進を図り、業務上の執行誤りを防ぐため、年度末には、新年度に備え、担当者による業務マニュアルの内容の確認・修正を行い、職場研修などでのマニュアルの内容の確認及び共有化を行いました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

上下水道局

▶ 平成28年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	9 件	効果額		取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	7,801 千円	※達成	6 件
実施済	6 件	実績効果額	40,960	※おおむね達成	3 件
着手済	3 件	歳入	3,883 千円	ある程度達成	
未着手		歳出	37,077 千円	やや下回っている	
中止		計	40,960 千円	かなり下回っている	
未到来				全くできなかった	
【実施・着手率】	100%	【達成率】	525.1%	【達成率】※の割合	100%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
3 - (3) 県水依存率の低減	県営水道の依存率を低減させ、渇水のリスクを低下させるため、県水受水量を削減するよう、大幅に予算額を削減し、実際に受水量、決算額が削減できました。	37,077千円

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ●公共下水道の接続については、未接続世帯への戸別訪問や周知・啓発活動に重点的に取り組んだ結果、平成27年度末の接続率を91.1%から91.9%に上昇させることができ、約3,883千円の収入増を達成できました。 ●平成27年度に鉛製給水管引換工事助成制度の運用範囲を拡充し、助成制度の利用促進を図るとともに、広報紙やホームページ等のほか、鉛管使用者への戸別通知を順次実施するなど、制度等の周知に努めたため、助成制度の利用件数が、27年度の846件から1,083件に増加しました。 ●ボトルドウォーター「瀬戸の都 たかまつの水」を1万本製作し、上下水道局の各種イベントや瀬戸内国際芸術祭の来場者等に配布し、水道水が安全でおいしく安価であることをPRしました。
課題	<p>水道事業の広域化を控えており、水道事業においては、企業団へ円滑に移行できるよう、効率的な体制の構築や、構成団体間で異なっている制度の統一に取り組む必要があります。</p> <p>また、下水道事業においては、新たな組織体制を構築するに当たり、上下水道統合の効果が損なわれず、市民の視点も考慮した、効率的かつ健全な経営が継続できるよう検討する必要があります。</p>
今後の取組	<p>平成27年度に見直した上下水道事業基本計画に基づき、今後も、将来にわたり健全で持続可能な企業経営を目指して、下水道未接続世帯の解消や県水依存率の低減などにより、効率的で健全な事業運営を目指します。</p> <p>また、水道事業の広域化を見据え、効率的な経営を推進するできるよう、新たな体制を構築します。</p>

教育局

平成28年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課とも、朝礼時やリスクマネジメント会議を通じて、「新コンプライアンス推進施策」に従い情報の共有や法令等の遵守に努め、コンプライアンスの徹底を図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課とも、年度当初に年間業務スケジュールを作成し、管理職を含め各担当者の役割確認に努めました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育課、保健体育課など、指導主事の配置がある所属において、専門性の伴う各種研修会や会議等に参加し、国や県の最新情報を得る中で専門性の維持、向上に努めました。 ・中央図書館では、香川県図書館協会が実施している研修（利用者対応、図書館資料の収集・選定、著作権、読み聞かせ等）に積極的に参加し、専門的知識を習得することで、図書館サービスの向上に努めました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育課において、朝礼等で別の担当者にも事業進行状況を報告し、共有することで協力体制を構築するとともに、常日頃から係長を中心に、事業を進行しながらOJTを実施しています。 ・生涯学習課において、事務分掌で主担当者・副担当者を定め、日頃から副担当者と情報を共有し、事業実施について協力できる体制をとり、事業実施のノウハウを継承できるよう努めました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価制度における能力評価及び業績評価の面談を通じ、適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	管理職を中心に積極的に課員とコミュニケーションを図り、局内や課内の課題共有や情報提供を行うことで風通しの良い職場環境の向上に努めました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各課において、業務ごとのマニュアルを作成し、随時更新を行いながら、日常の業務遂行や引継時などに活用しました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

教育局

▶ 平成28年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数 【取組状況】	6 件	効果額		取組項目数	
実施済	1 件	目標効果額	千円	※達成	1 件
着手済	5 件	実績効果額	千円	※おおむね達成	2 件
未着手	件	歳入	千円	ある程度達成	1 件
中止	件	歳出	千円	やや下回っている	2 件
未到来	件	計	千円	かなり下回っている	件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	%	【達成率】※の割合	50.0%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
3 - (2)	コミュニティセンター内にある図書館分室（46分室）のうち、5分室（林、太田南、屋島、三谷、古高松）について、モデル的に活性化事業を実施した結果、年間実績貸出冊数が平成27年度と比較して、平均で2.2倍に伸びました。	・年間実績貸出冊数推移 H27 H28 伸率 林 191→ 980 5.1 太田南 194→ 631 3.3 屋島 728→ 578 0.8 三谷 1,054→1,239 1.2 古高松 5,390→5,132 1.0 伸率平均 2.2

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ●教育資金支援事業：平成28年度高松市外部評価対象事業となり、奨学金制度については成績要件の見直しが必要との意見を受けたことから、平成29年度奨学生から成績要件の引上げ（平均3.1以上→3.5以上）を行いました。 ●学校給食調理場の整備及び運営方法の検討：学校給食調理場の整備については、建設用地についての事業認定手続き及び基本設計が完成しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティセンター等講座事業の見直し：「まなびの場づくり」事業について、地域からの意見も踏まえ、史跡探訪や自然観察など、各地域の実情に合わせた講座を柔軟に実施できるよう、事業の見直しを行ったことにより、実施個所が前年度からは大幅に増加しましたが、目標値を下回りました。 ●生涯学習センターの効率的運営及び利用率等の向上：生涯学習センターの利用率等の向上について、市内に新たな公共施設が設立されたことにより、講座や貸館等において他館と競合したことが影響し、利用率が目標値を下回りました。 ●図書館運営事業：指定管理者制度等の導入については、他都市では、一度導入しながら、その後、直営に戻した例もあることから、導入事例などを調査・研究し、様々な面から、慎重に検討する必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●学校給食調理場の整備及び運営方法の検討：学校給食調理場の整備については、用地を購入するとともに、実施設計・地質調査・造成設計等に着手し、給食センター完成に努めます。 ●コミュニティセンター等講座事業の見直し：「まなびの場づくり」事業について、コミュニティセンターに講座の趣旨である高松の次世代を担う子どもたちの学ぶ意欲を高めることで、「生きる力」の育成に取り組むことの重要性について周知し、講座実施個所の増加を目指します。 ●生涯学習センターの効率的運営及び利用率等の向上：生涯学習センターの講座受講料について、受益者負担の原則や市民負担の公平性の観点から踏まえ、今後とも、講座数の確保と適正な受講料の設定に努めます。また、生涯学習センターの利用率等の向上について、現在、「広報たかまつ」や「まなびかんづめ」等で市民への広報を行っています。新たな利用者獲得に向け、利用促進チラシの作成、ソーシャルメディアの活用等の実施を検討します。 ●図書館運営事業：今後においても、新規購入図書と合わせて旧松島図書館所蔵資料も活用し、分室に配置する資料の充実にも努めるとともに、各地区コミュニティ協議会の協力を得て、市民の身近な図書館である、分室の利用促進に向けた環境づくりを進めるなどにより、より効果的・効率的な事業運営に努めます。また、指定管理者制度等の導入については、引き続き、中・長期的な視点の中で、他都市の導入事例などを調査・研究し、慎重に、様々な面から導入の可能性を検討します。

監査委員事務局

平成28年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	毎週月曜日の朝礼において、職員の当番制によるコンプライアンスに関連する講話をしたり、「Takamatsu CS Credo」などを唱和したりしました。また、月2回、定期的にリスクマネジメント会議を開催し、職員のコンプライアンス意識を高めました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	局の職場目標（管理職員の人事評価の業績目標）を明らかにしました。また、管理職員を含めた相談体制を確立したことにより、この中で、職員ごとに求められる責任や役割を認識することができ、職場一丸となって職務を推進しました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	市町村アカデミーや国際文化研修所などの研修に参加し、その研修結果を課内で共有しました。また、局独自に、職場内研修推進要綱の援助を受けた研修を実施し、専門性の維持、向上を図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	1年ごとに事務分掌を見直し、担当業務（ポスト業務を除く。）について、前任者が課内に在籍している状態を作り出すことにより、スムーズな技術承継を図りました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価の能力評価・業績評価における十分な面談や、希望者への評価結果の開示などを通して、適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	職員間での報告・連絡・相談を適宜行い、情報が共有化されるよう心掛けるとともに、日々のあいさつや声掛けなどにより、風通しの良い職場環境の整備に努めました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	既に業務ごとのマニュアルを作成しており、必要に応じて見直すことにしていますが、平成28年度は見直しはありませんでした。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

選挙管理委員会事務局

平成28年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	過去の信用失墜の記憶と緊張感が薄れないよう高松市職員コンプライアンスハンドブックを携えて、リスクマネジメント会議を行いました。会議では、リスクの芽を早い段階で積極的にあげて原因を追究し、対策を取ることができました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	月2回係長会議を開催し、課内の懸案事項の協議を行い、その都度、事業の方向性や担当者等を決定しました。また、選挙課内で共通の認識が持てるよう事業の進捗状況の確認や情報の共有を図りました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	選挙課内職員全員を対象に、公職選挙法及び事例の研究等の研修を行い、専門的知識の向上を図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	選挙時の併任職員について、短期間の配置は作業効率も悪く、ミスの誘因ともなることから、まとまった期間での配置とするよう併任職員制度の見直しを行いました。また、担当業務ごとに経験と知識を有する併任職員を配置し、技術継承に取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価の能力評価及び業績評価において、選挙課内で、十分な面談を通して適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	職場目標として、選挙課のビジョンとミッションを設定し、課内全員で話し合いを行いました。さらに壁に掲示し意識づけを行いました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各担当で作成していた業務マニュアルを統一的に管理し、業務スケジュールの見直しを行うことで、事務の効率化を図りました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

農業委員会事務局

平成28年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	毎週月曜日の朝礼で「Takamatsu CS Credo」を唱和し、定期的にはリスクマネジメント会議を開催するなど「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践し、コンプライアンス推進を徹底しました。 特に、職場の使命（ミッション）である優良農地の確保と担い手への農地集積・集約化の施策に重点を置き、職員への意識付けを図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	業務上の懸案事項について管理職を含め相談する体制をとるなど、職位ごとに求められる責任、役割を認識しながら問題の解決に努めました。 また、各係ごとに、I L U Oチャートを作成し、その評価による担当者の成長度合いの見える化、モチベーションのアップを図りました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	日常的に職員間で業務についての相談を行うほか、四半期ごとに、講師（事務担当者）の持ち回りによるO J T（農地関係法令研修）を実施しました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	ベテラン職員の人事異動に対応するため、各係員全員が全ての業務に係る専門的な知識を取得できるよう、原則2年間ごとのジョブローテーションを実施し、前任者が課内に在籍しているうちに引継ぎを行えるようにしました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価の能力評価及び業績評価において、十分な面談などを通して適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	「農政全般にわたる専門的な知識を有するプロフェッショナル集団を育てる組織への改革」という職場目標を設定し、目標達成に向けて毎月最低1回の係内ミーティングを実施しました。 また、日々のコミュニケーションを積極的に行い、風通しの良い職場環境の整備に努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	農地法関係の申請及び利用集積計画に係る審査業務の運用を見直し、1件あたりにかかる時間を削減するなど事務の効率化を図りました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

市議会事務局

平成28年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践し、コンプライアンスを徹底しました。特に、「毎週金曜日をコンプライアンス推進日に設定」の施策に重点を置き、職員への意識付けを図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課において、年間スケジュールを作成したうえで、担当の役割を明確にするための打ち合わせを行いました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	人事課等が実施する研修のほか、香川県市議会議長会、四国市議会議長会が実施する事務局職員研修会に所属職員を積極的に参加させました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	事務局各課において、ベテランと若手職員をペアにし、日常業務の中で技術継承に取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価の能力評価及び業績評価において、各課ともに十分な面談を通して適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	事務局各課において、「風通しのよい職場の実現」という職場目標を設定し、係長会開催後に係内ミーティングを実施しました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	年度当初に実施している政務活動費収支報告書のチェック業務について、チェックリストを作成することにより、人事異動直後でも遺漏なくチェックできるよう見直しました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

出納室

平成28年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	朝礼において、毎週水曜日は不祥事撲滅推進プログラムを、金曜日は「高松市職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に関する条例」第3条及び第4条を読み上げることで、室内全職員でコンプライアンス意識を高めました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各係において担当ごとの進捗状況を把握し、適切に指示をしました。 また、業務上の懸案事項等について、管理職を含め相談する体制を作っており、その中で職位ごとの責任や役割を認識しながら問題の解決に努めました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	普段から職員間で業務についての相談を活発に行っているほか、レアケースについての情報共有を図ることで、専門性の維持、向上を図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	1年ないし、2年ごとに担当業務や担当する課を入れ替え、前任者が課内に在籍しているうちに引き継ぎを行えるよう努めることで、技術継承の推進を図りました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価制度に基づき、評価者による面談を漏れなく実施するとともに、管理職等上位の者が設定した目標を部下と情報共有するなど、室内での意思疎通を図るなかで、各人が目標を持って業務に携われるよう努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	室の懸案事項について室内で情報共有を図るとともに、相談しやすい、風通しの良い職場の実現に努めました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	業務ごとに担当者が見直しを行いました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

3 プロジェクト進行管理制

項番	1	分類番号	1 - (1) (コンプライアンスの徹底)	リーダー	総務局 コンプライアンス推進課
主な関係課	全課				
実施項目	コンプライアンスの徹底				

1. 実施内容(計画策定時)

<p>「新コンプライアンス推進施策」に基づき、推進チームとして引き続き、個々の職員のコンプライアンス意識の向上を図るとともに、不祥事が発生しない職場環境づくりを推進するなど、事務局（コンプライアンス推進課）と連携し、コンプライアンスの徹底に取り組みます。</p>

2. 取組実績

【成果】	<p>職員のコンプライアンス意識のより一層の向上を図ることを目的とした「コンプライアンスハンドブック」について、内容の検討を行ったほか、「新コンプライアンス推進施策」について、「コンプライアンスアンケート」の結果等を踏まえ、見直し内容の検討を行いました。</p> <p>また、「さわやかサービス推進チーム」と連携し、新規採用職員に対して電話・窓口対応研修を実施しました。</p>
【課題】	<p>引き続き「新コンプライアンス推進施策」に基づく取組を着実に実施することにより、職員一人一人のコンプライアンス意識の向上を図る必要があります。</p>
【今後の取組】	<p>「新コンプライアンス推進施策」について、より効果的なものとするため、毎年度実施する「コンプライアンスアンケート」の結果等も踏まえ、必要な見直しを図りながら着実に推進します。</p>
【目標達成度】 (6段階評価)	4 (おおむね達成)

項番	2	分類番号	2 - (1) (自主財源の確保)	リーダー	財政局 税務部 納税課 (債権回収室)
主な関係課	国保・高齢者医療課、介護保険課、こども園運営課、こども家庭課、市民病院事務局医事課、住宅課、出納室、お客さまセンター				
実施項目	債権管理の適正化				

1. 実施内容〔計画策定時〕

市民の貴重な財産である債権の管理に万全を期すため、計画的で適正な債権管理の取組を進めます。

<主な検討・実施内容>

- ① 債権管理・回収マニュアル等の改定
- ② 電話催告や臨戸訪問等の取扱い
- ③ 納付環境の整備
- ④ 債権回収ノウハウの共有

2. 取組実績

【成果】	<p>中核市及び香川県内市にコンビニ収納やクレジット収納の導入状況等についての調査を実施し、得られた結果を基に納付環境の拡充等について、検討を行いました。</p> <p>また、各課の取組状況や課題等についての意見交換を行い、債権管理・回収に関する情報共有を図ることができました。</p>
【課題】	<p>債権管理・回収に関するノウハウの伝達や債権所管課間での情報共有に努めていますが、他の業務との兼ね合いや過去に実績が少ないことから強制処分の実績が上がっていない債権がありました。</p>
【今後の取組】	<p>納付環境の整備（納付方法の拡充等）について、市民ニーズや費用対効果を的確に把握するとともに、今回得られた他都市の状況等を踏まえ検討していきます。</p> <p>また、債権所管課が強制処分等の実績を上げられるよう、債権回収室が中心となり、助言や支援を行うことで、本市全体の債権管理の適正化の取組を進めます。</p>
【目標達成度】 (6段階評価)	4 (おおむね達成)

項番	3	分類番号	2-(2) (ファシリティマネジメントの 推進)	リーダー	財政局 財産経営課 (ファシリティマネジメン ト推進室)
主な関係課	公共・公用施設等の建築物を保有・維持管理している全課 (ただし、国の指針に基づき進められている土木・インフラ系施設部門等は除く)、政策課、財政課、建築課				
実施項目	ファシリティマネジメントの推進				

1. 実施内容〔計画策定時〕

本市の今後の財政状況から、現在ある全ての公共施設を維持することはできないため、思い切った削減が必要となっています。平成27年度に策定した「高松市公共施設有効活用・再配置等方針」に基づき、公共施設の複合化や統廃合、規模の見直し等を行うとともに、老朽化した施設は廃止、民間の運営が適当な施設は売却するなど、公共施設の総量削減や配置の見直しを進めます。そのための、個別施設の方向性を定める、「公共施設再編整備計画」の策定に取り組みます。

【取組推進に当たっての留意事項】

- 施設利用者や地域住民への十分な説明
- 多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画などの関連計画との整合
- 施設ごとの中長期保全計画に基づく、LCCの効率化
- 継続使用する施設のうち、必要な施設は長寿命化対策（予防的な保全など）を実施

2. 取組実績

【成果】	27年度に引き続き、「高松市公共施設再編整備計画（案）2次」（対象577施設）分について、庁内検討により取りまとめを行いました。
【課題】	「高松市公共施設再編整備計画（案）1次」（対象80施設）分については、議会や地域審議会へ説明後、パブリックコメントや市民説明会等を開催し、意見聴取を行いました。廃止等の方向性を出した施設について、個別実施計画の策定に着手できた施設はありません。 また、「高松市公共施設再編整備計画（案）2次」（対象577施設）分についても、1次と同様の進め方を予定していますが、ファシリティマネジメントの取組効果の早期発現に向け、協議の整ったものから、実施計画の策定に着手する必要があります。
【今後の取組】	「高松市公共施設再編整備計画（案）3次」（対象171施設）分の策定において、当初の削減目標の達成が困難となることも予測されるため、再編整備計画全体のとりまとめを行うとともに、課題を整理し、今後も社会情勢や市民ニーズの変化等によっては、施設の必要性が変化することから、施設分類ごとに、地域において果たすべき役割も考慮しながら、随時、見直しを図っていく必要があります。
【目標達成度】 (6段階評価)	4 (おおむね達成)

項番	4	分類番号	2 - (4) (社会保障費の抑制)	リーダー	健康福祉局 国保・高齢者医療課
主な関係課	長寿福祉課、介護保険課、地域包括支援センター、保健センター、政策課、コミュニティ推進課、産業振興課				
実施項目	保険給付費適正化				

1. 実施内容(計画策定時)

<p>増大する国民健康保険、介護保険の保険給付費の適正化について、関係課が連携を強化し、効率的・効果的に取り組むため、引き続きプロジェクトチームを設置し、次の事務・事業を行います。</p> <p>① 保険給付費の実態に関する分析</p> <p>② 保険給付費の適正化に関する計画の見直し及び検証</p> <p>③ 保険給付費の適正化に関する周知啓発等</p>

2. 取組実績

【成果】	<ul style="list-style-type: none"> ・第1期高松市国民健康保険及び介護保険の保険給付費適正化計画で中心的に取り組んだ糖尿病予防と介護予防に加え、新たに、慢性腎臓病（CKD）予防対策にも重点をおき、取組を推進していくため、第2期適正化計画（データヘルス計画）（平成28年度～29年度）を策定しました。 ・国民健康保険については、「糖尿病予防事業」に重点的に取組み、「特定健診診査」、「特定保健指導の実施率」の改善を図りました。 ・介護保険については、「介護予防事業」に特化し、はつらつ介護予防教室の参加率の改善を図りました。 ・地域コミュニティ協議会をはじめ、各種団体や居場所づくり事業参加団体などを対象に、周知会を開催しました。 ・保険給付費適正化への理解を深め、健康づくりと介護予防に取り組むことを目的に、健康長寿川柳の募集や、その受賞作品を掲載したラッピングバスの運行、瓦町フラッグにおいて、「みんなで目指そう、健康長寿シンポジウム」を開催しました。
【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の受診率や特定保健指導の終了率を高め、生活習慣病の予防につなげる必要があります。 ・糖尿病や慢性腎不全の重症化を予防する必要があります。 ・がんの早期発見・早期治療につなげる必要があります。 ・薬剤などの医療資源の利用を適正に推進する必要があります。 ・介護保険の第1号被保険者と、サービスを利用している要支援認定者のうち、新規認定者の介護予防に取り組む必要があります。 ・引き続き各種団体に周知啓発活動の依頼を行うとともに、周知会に参加していない市民に対し、他の方法での周知啓発活動を検討する必要があります。
【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の課題を踏まえ、第2期国民健康保険及び介護保険の保険給付費適正化計画（データヘルス計画）で評価指標と目標値を定めました。今後、計画の進行管理を行い、その中で2年間の短期目標と、35年度までの中長期目標の双点から目標達成の評価を行います。 ・関係各課と連携し、周知会未開催団体等に依頼し、周知会を開催します。 また、引き続き、周知啓発活動の方法、効果などの検証を行います。
【目標達成度】 (6段階評価)	4 (おおむね達成)

項番	5	分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)	リーダー	総務局 人事課 (行政改革推進室)
主な関係課	情報政策課、コンプライアンス推進課、市民課、人事課、危機管理課、納税課、市民税課、資産税課、健康福祉総務課、国保・高齢者医療課、障がい福祉課、生活福祉課、長寿福祉課、介護保険課、子育て支援課、子ども家庭課、子ども園運営課、保健対策課、保健センター、住宅課、消防局総務課、学校教育課、保健体育課				
実施項目	社会保障・税番号制度の推進				

1. 実施内容(計画策定時)

社会保障・税番号制度を効率的かつ円滑に推進するために、次に掲げる事項について検討します。

- ① 番号制度に関連するシステム改修に関すること。
- ② 個人番号の独自利用に関すること。
- ③ 個人番号通知カード及び個人番号カードの交付に関すること。
- ④ 特定個人情報保護評価に関すること。
- ⑤ 例規の整備に関すること。
- ⑥ 情報セキュリティ対策に関すること。
- ⑦ その他、番号制度に関すること。

2. 取組実績

【成果】	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトチーム会議を2回開催しました。 ・マイナンバーカードの普及促進キャンペーンを実施しました。 ・独自利用事務を追加する条例改正を行いました。 ・情報提供ネットワークシステムの本番運用に向け、総合運用テスト及び福祉保健系システムの改修を実施しました。 ・交付窓口の増設や専従の人員を配置し、マイナンバーカードの交付を円滑に行いました。 ・マイナンバーカードを利用したコンビニでの証明書交付（住民票、印鑑証明、税証明）を実施しました。
【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの交付実績は28年度末で32,947枚であり、さらに普及促進を図る必要があります。 ・関係各課は29年4月から6月の間、情報連携、マイナポータルの運用テストを実施し、7月からの試行運用、10月からの本格実施に備える必要があります。 ・子育てワンストップサービスの導入に当たり、国のプラットフォームと市の既存システムの接続方式を決定し、それに伴う改修等を行う必要があります。
【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの普及を図るため、利便性のPR等効果的な広報を行います。 ・「子育てワンストップサービス」等マイナンバーカードの利活用策については、関係各課が連携し、円滑な導入に努めます。 ・国の動向を注視し、マイナンバー制度を更に効果的に推進するため、市民の利便性向上に向けた独自利用事務の検討等を行います。
【目標達成度】 (6段階評価)	4 (おおむね達成)

【平成28年度追加項目】

項番	6	分類番号	4 - (3) (市政の見える化)	リーダー	環境局 環境総務課
主な関係課	環境総務課、情報政策課、政策課、納税課、保健センター、産業振興課、都市計画課、生涯学習課、市民病院事務局総務課、企業総務課				
実施項目	本市公式ホームページの再構築に向けた基本的事項の検討				

1. 実施内容

<p>高松市公式ホームページを再構築し、利用者にとって、より分かりやすく、親しみやすいものとするための基本的事項を検討します。</p>

2. 取組実績

【成果】	<p>本市公式ホームページにおける、閲覧者及び更新者の目線での問題点をそれぞれ抽出した上で、それぞれの問題解決策の検討を行いました。また、これらの検討結果を踏まえ、新たなホームページ更新システム（CMS）の仕様を確定させました。</p>
【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ・各局で個別にアカウントを取得し運用しているSNSへの対応ができていません。そのため、統一的な情報発信が行えていません。 ・情報発信の考え方やホームページの利用方法の明確な位置付けとなるものがありません。
【今後の取組】	<p>今後については、現在、各局で運用しているfacebookを始めとするSNSの在り方についての検討及びガイドライン等の作成を進めます。また、職員がホームページを作成する際の指針となる、ホームページの運用方針等についても、今後作成していくこととします。</p>
【目標達成度】 (6段階評価)	4 (おおむね達成)

4 【参考】平成28年度外部評価による事業の見直し状況

No.	事業名	担当局 (担当所属)	判定 結果	検討 方向	H28年度予算 (H29.3.31時点)	H29年度 当初予算
1	公衆便所管理等事業	環境局 環境施設対策課	改善	改善	15,803	14,688 (▲1,115)
2	コミュニティセンター 講座等事業	教育局 生涯学習課生涯 学習センター	改善	改善	21,767	21,767
3	歴史資料館管理運営事業 (ほか関連4事業)	創造都市推進局 文化財課	改善	改善	73,090	71,607 (▲1,483)
4	図書館運営事業 (ほか関連1事業)	教育局 中央図書館	改善	改善	408,419	384,100 (▲24,319)
5	教育資金支援事業	教育局 学校教育課	改善	改善	32,468	30,407 (▲2,061)

